

部局名	教育委員会	所属名	教育総務課 文化財班	所属長名	朝比奈 竹男	電 話	481-0304
-----	-------	-----	------------	------	--------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	4162		事務事業名称	埋蔵文化財保管整理事業					短縮コード	経常		臨時	4162
予算区分	会計	01	一般会計	款	05	労働費	項	01	労働諸費	目	02	緊急雇用対策費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		千葉県緊急雇用創出事業臨時特例基金条例，千葉県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業補助金交付要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
この事業は，千葉県緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用し，失業者に対する短期の雇用・就業機会の創出・提供を図るために実施している事業である。平成21年度，平成22年度の2か年の事業である。埋蔵文化財調査で出土した貝類の洗浄・分類・整理や文化財の保管整理事業を実施している。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
平成21年度，平成22年度の2か年の事業であり，緊急雇用創出事業としては本年度で終了予定である。埋蔵文化財保管整理事業としては，今後とも実施する必要性がある。					大項目（節）	05	文化						
					中 項 目	02	文化財						
					小項目（施策）	03	埋蔵文化財の保護と記録保存						
					細 項 目	02	整理事業の推進						
					実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成21年10月 ～ 平成22年3月		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市内の遺跡から出土した出土文化財						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 市内出土の出土文化財を洗浄，整理した。						
	※平成22年度に計画していること： 市内出土の出土文化財を洗浄，整理する。						
意図 （何を狙っているのか）	緊急雇用創出事業ととして，求職者を臨時的に雇用し，埋蔵文化財調査で出土した出土文化財を洗浄，分類，整理し，保管管理する。特に，貝塚から出土した貝類の洗浄・分類，整理を行ない，八千代市の歴史及び環境復元の資料とする。						
ねらい（上位施策の意図）	市内出土の出土文化財を洗浄，整理，保存し，市の歴史や環境復元の資料としての活用に供する。						
区 分			単位	20年度	21年度		22年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	事業に従事する人数	人		7	15	7
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	新規雇用の失業者	人		6	14	6
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	雇用の創出(事業に従事する人数／新規雇用の失業者)	%		85.7	93.3	85.7
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	4162	事務事業名称	埋蔵文化財保管整理事業			所属名	教育総務課 文化財班
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続		引き続き緊急雇用対策事業として、失業者に対する短期の雇用機会の創出に努めます。また，緊急雇用創出事業としては平成２２年度で終了のため，埋蔵文化財保管整理事業としては終了し，文化財保護普及事業への統合が必要であり，展示等をとおして活用を図る必要がある。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			平成２２年度までの特例基金事業であり，平成２２年度末に終了する。その後，本事業で得られた成果を活用する段階となる。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☒	☐	
			不 変	☐	☐	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
緊急雇用創出事業としては，臨時的ではあるが，直接雇用のため評価するむきもある。埋蔵文化財保管事業としては，分類整理後の保管，活用の具体性が求められる。	

所属長コメント	当初予定の緊急雇用創出事業は平成22年度で終了する。今後，県において本事業の募集があれば，内容を精査のうえ，緊急雇用創出事業に携わる必要はある。埋蔵文化財保管整理事業は今後も継続する必要がある，この成果を基に市内出土資料の展示をとおして，市民に八千代市の歴史や環境での活用を図ることが必要となってくる。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☒ 現状のまま継続		